

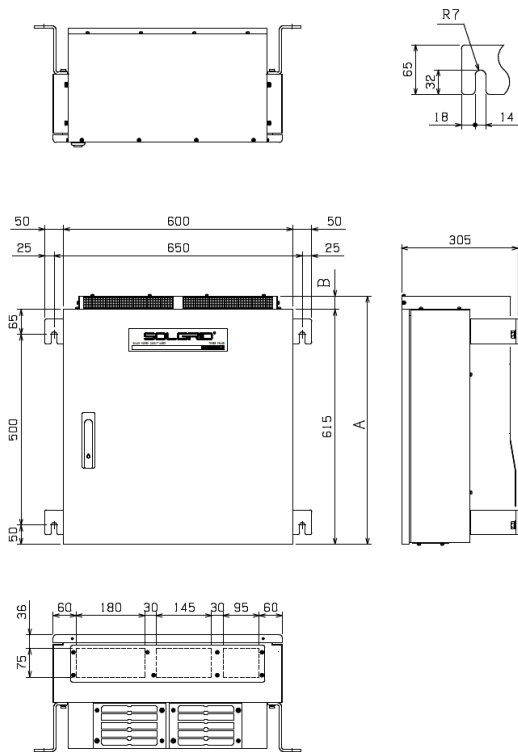
PVS9R9T200B_□□/ PVS010T200B_□□/ PVS012T200B_□□/ PVS9R9S200B_□□ 設置ガイド

本設置ガイドは、9.9kW/10kW/12.3kW 太陽光発電用パワーコンディショナ PVS9R9T200B_□□/ PVS010T200B_□□/ PVS012T200B_□□および PVS9R9S200B_□□（以下 PCS）の設置時に注意していただきたい事項を記載しております。
特に設置条件と配線方法について記載していますので参考にしてください。
その他詳細については、PCS に同梱している『取扱説明書』をお読みください。
※配線作業時以外は正面扉を確実に閉めてください。

1. 送付品の確認

- ① 装置本体 (PVSXXXT200B_□□) □ 1冊 (PVS9R9S200B_□□) □ 1台
- ② 取扱説明書 □ 1冊
- ③ 設置ガイド(本書) □ 1枚
- ④ 検査成績書 □ 1冊
- ⑤ (仮)保証書 □ 1枚
- ⑥ ご利用にあたっての注意事項 □ 1冊
- ⑦ 正面扉の鍵 □ 2個
- ⑧ ボルト(M10×40)、ナット(M10)、平座金(2個)、バネ座金 □ 4式

2. 外形寸法・質量



標準品の外形寸法図

単位: mm

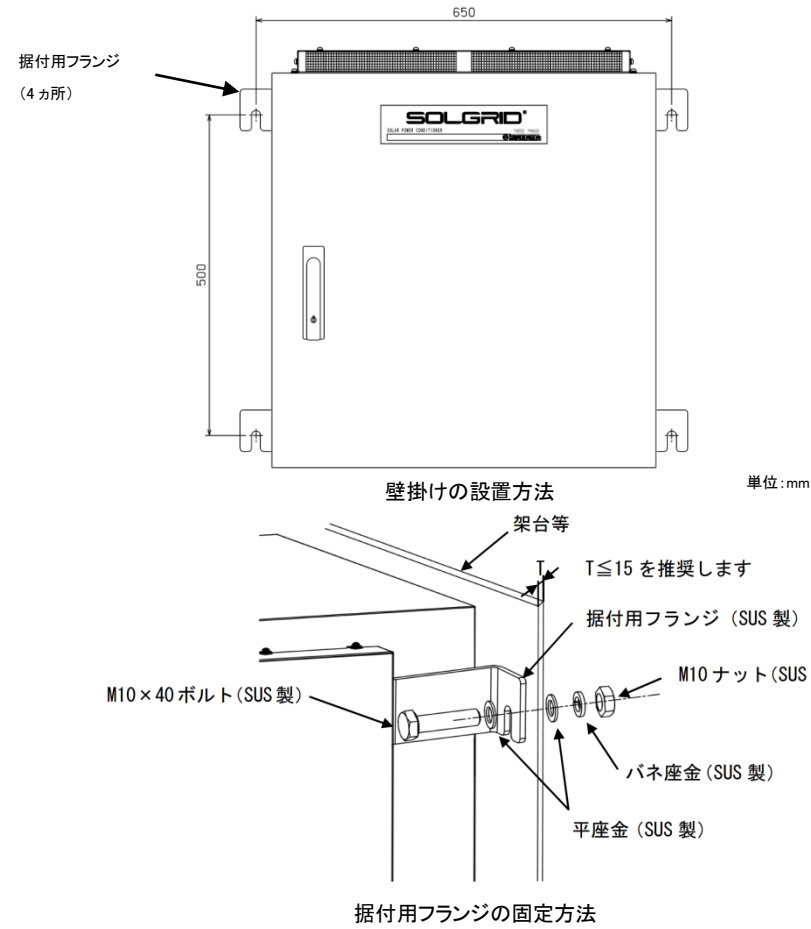
	9.9kW/10kW	12.3kW
A	650mm	675mm
B	35mm	60mm

質量

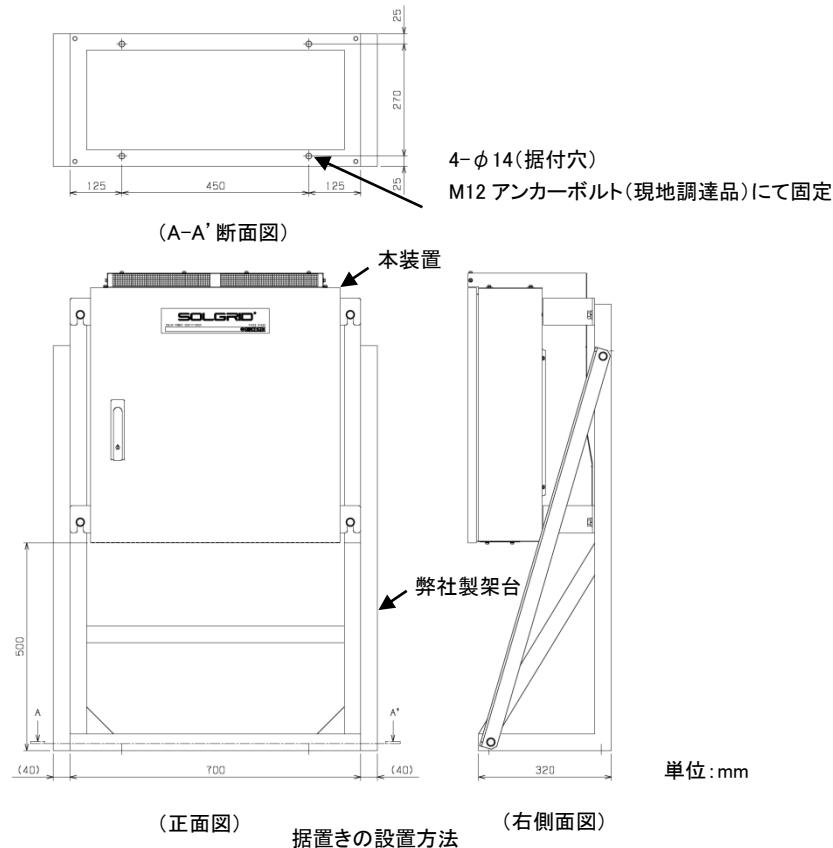
9.9kW/10kW : 62kg 以下
12.3kW : 63kg 以下

3. 設置方法

壁掛けにて使用する場合は、据付用フランジを架台等に取り付けてください。



据置きにて使用する場合は、弊社製架台（別途購入品）の下部をアンカーボルト等で固定し、PCSの据付用フランジを架台に取り付けてください。
アンカーボルト等架台の設置に使用する部品は施工業者様側で準備してください。
転倒の恐れがありますので、架台を固定する前にPCSを取り付けしないでください。

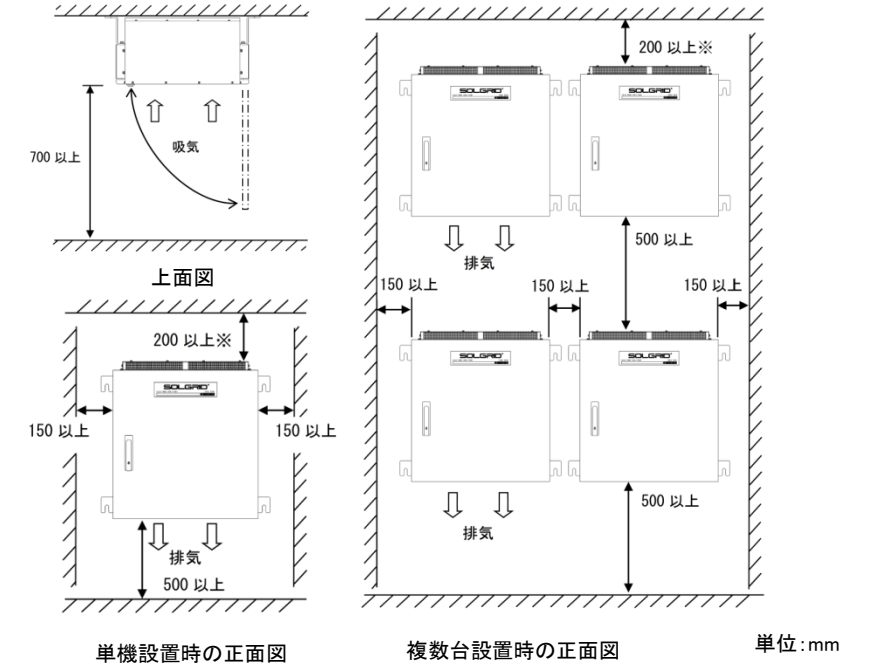


(正面図) 据置き設置方法 (右側面図)

新電元工業株式会社

4. 周囲との間隔

PCSは、下図のように間隔を取って設置してください。



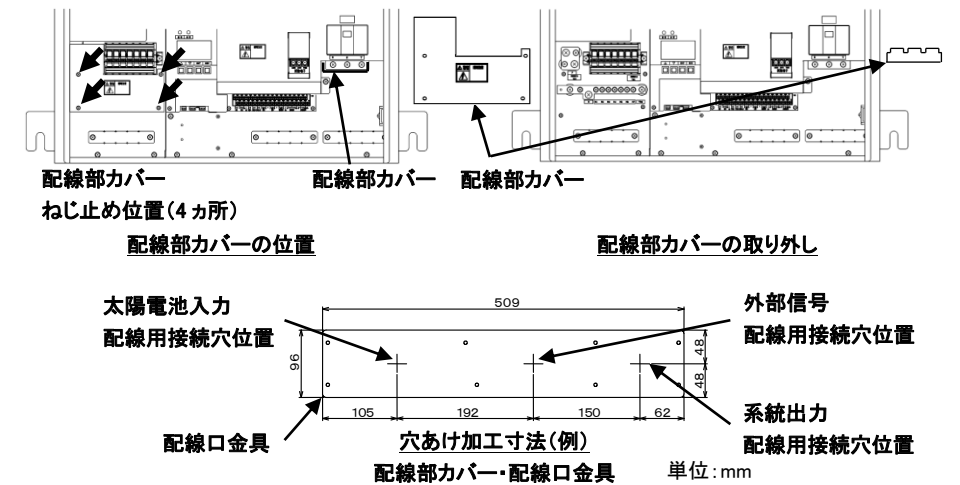
※正面扉の開閉、吸排気および保守スペース確保のため、上記寸法の間隔を設けてください。なお、上部側に熱源がある場合は、上部に500mm以上の間隔を設けてください。間隔が狭いと冷却効果が低下します。
※前面上側の吸気ダクトより外気を取り込み、下側の排気ダクトから排気する構造となっています。

注意

- (1) PCSの下部側には積雪や草木の影響を受けないように間隔を確保してください。
- (2) 下部離隔250mmでの設置も可能ですが、排気ファン交換時にPCS本体の取り外しが必要となる場合があります。

5. 配線口金具の加工

配線部カバーの位置および、穴あけ加工寸法(例)は下図をご参照ください。全ての配線工事が終了した際には、配線部カバーを元通りに取り付けてください。



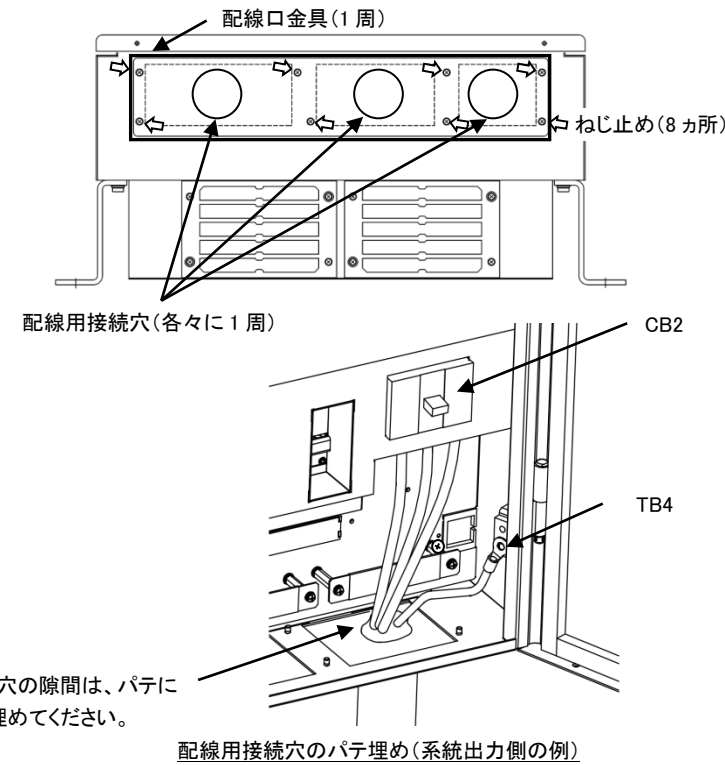
注意

- (1) 配線には電気工事士の資格が必要です。経験を有しておらず専門知識のない人は、配線作業を行わないでください。
- (2) 電線管を使用する等、工事後の配線に応力がかからないように配慮してください。

6. 防水処理

防水処理は下図を参照してください。

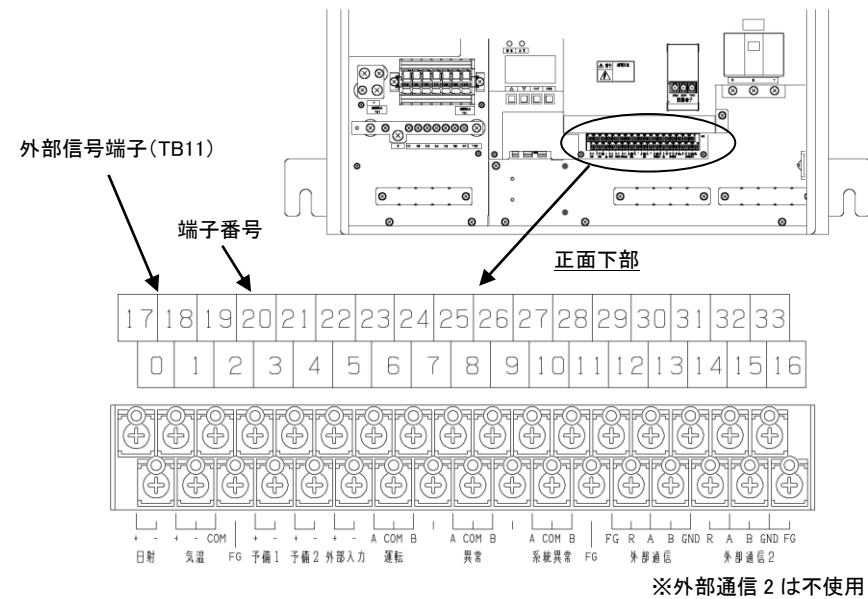
配線口金具の周囲、配線用接続穴の周囲、ねじ止め(8カ所)に防水処理を行ってください。



注意 配線口金具および配線用接続穴の穴あけ加工後は防水処理（シーリング、パテ埋め等）を行い、確実に隙間を埋めてください。

7. 外部信号端子に関して

PCS の計測・監視・制御等に用いる外部信号端子を下図に示します。機能、ピンサインおよび電線種等の詳細は『取扱説明書』9.5 項 外部信号端子 (TB11) の接続を参照してください。

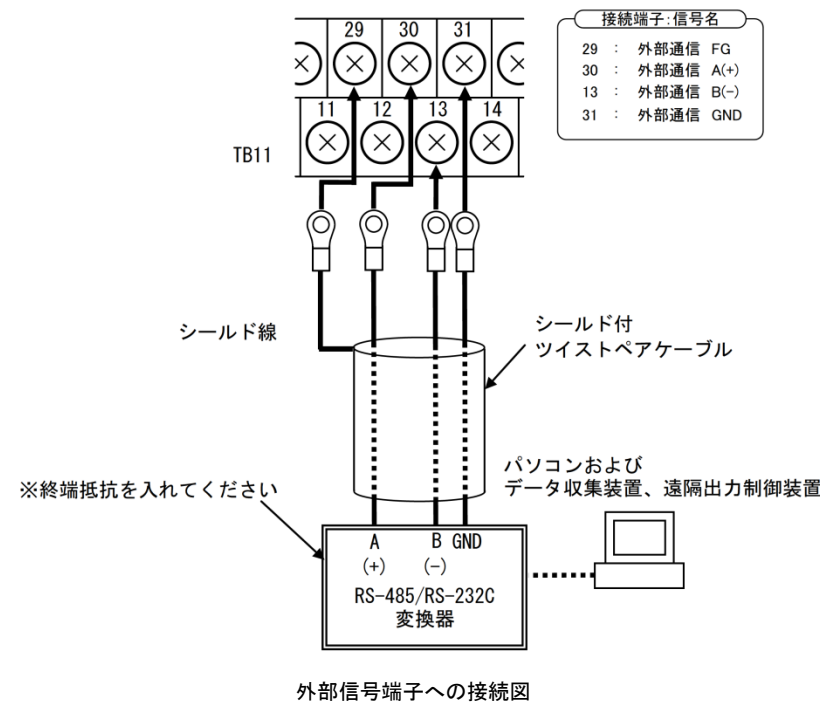
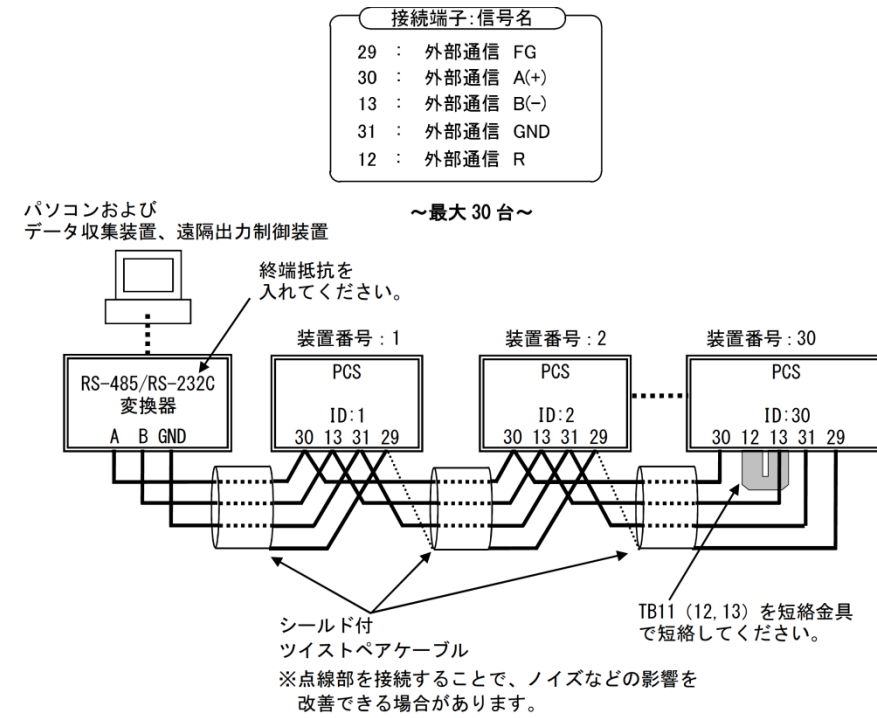


注意 (1) 圧着端子は、絶縁スリーブ付を推奨します。
 (2) 使用する電線種は、シールド付ツイストペアケーブル (KPEV-SB 0.5mm²) を推奨します。
 型名: KPEV-SB メーカー: 古河電気工業株式会社
 KPEVは古河電気工業株式会社の登録商標です。
 (3) 各ケーブルは、施工業者様側で準備してください。

8. パソコンおよびデータ収集装置、遠隔出力制御装置の配線

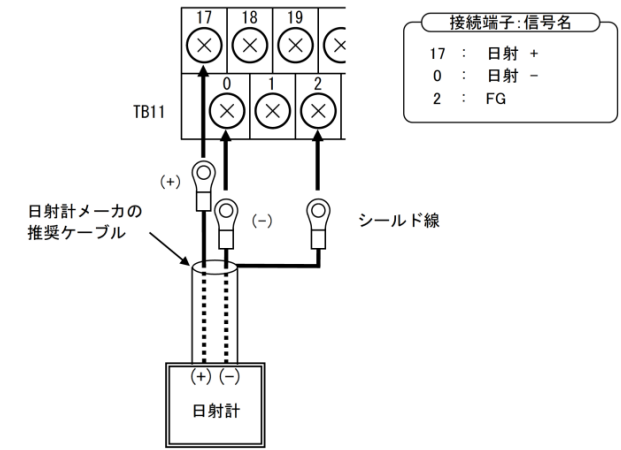
PCS をパソコンおよびデータ収集装置、遠隔出力制御装置に接続してデータ収集や出力制御を行う場合は、外部信号端子に下記接続図を参考にして配線してください。

- (1) PCS とパソコンおよびデータ収集装置、遠隔出力制御装置を接続する際は、データ収集装置、遠隔出力制御装置側に終端抵抗を入れてください。
- (2) 末端の PCS は TB11 (12,13) 間を短絡金具で短絡してください。
 ※短絡することで終端抵抗が挿入され通信が安定に動作します。
 ※PCS を単機で使用する場合でも、TB11 (12,13) 間は短絡金具で短絡した状態としてください。(出荷時は、短絡金具を取り付けてあります。)



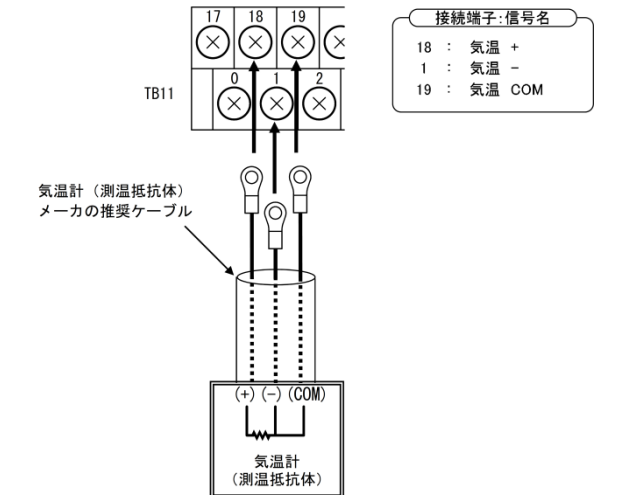
注意 (1) 圧着端子は、絶縁スリーブ付を推奨します。
 (2) 使用する電線種は、シールド付ツイストペアケーブル (KPEV-SB 0.5mm²) を推奨します。
 型名: KPEV-SB メーカー: 古河電気工業株式会社
 KPEVは古河電気工業株式会社の登録商標です。
 (3) 各ケーブルは、施工業者様側で準備してください。

9. 日射計の配線



注意 (1) 日射計とPCS間の配線距離は、出来る限り短く配線してください。
 (2) 日射計の選定に関しては『取扱説明書』を参照してください。

10. 気温計の配線



注意 (1) 気温計とPCS間の配線距離は、出来る限り短く配線してください。
 (2) 気温計の選定に関しては『取扱説明書』を参照してください。

11. その他

- (1) 配線に関する詳細は『取扱説明書』9 項 配線の接続を参照してください。
- (2) 絶縁抵抗試験については『取扱説明書』8.3 項 絶縁抵抗試験の方法を参照してください。
- (3) 不明点は『取扱説明書』を参照して作業を行ってください。

注意 配線接続後や操作パネル、遮断器、断路器の操作後は正面扉を確実に閉めてください。

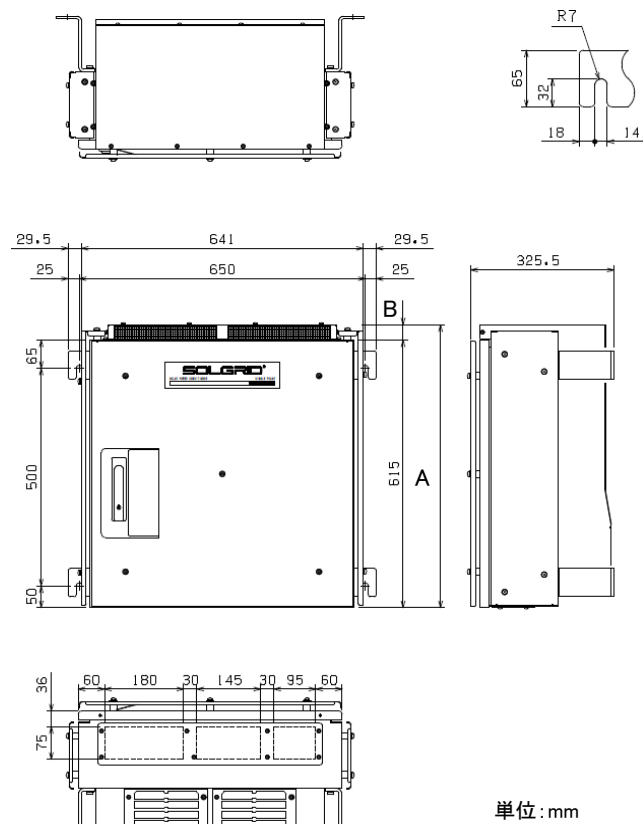
PVS9R9T200B-SK□□/ PVS010T200B-SK□□/ PVS012T200B-SK□□/ PVS9R9S200B-SK□□ 設置ガイド

本設置ガイドは、9.9kW/10kW/12.3kW 太陽光発電用パワーコンディショナ PVS9R9T200B-SK□□/ PVS010T200B-SK□□/ PVS012T200B-SK□□および PVS9R9S200B-SK□□（以下 PCS）の設置時に注意していただきたい事項を記載しております。
特に設置条件と配線方法について記載していますので参考にしてください。
その他詳細については、PCSに同梱している『取扱説明書』をお読みください。
※配線作業時以外は正面扉を確実に閉めてください。

1. 送付品の確認

- ① 装置本体 (PVSXXT200B-SK□□) □ 1台 (PVS9R9S200B-SK□□) □ 1台
- ② 取扱説明書 □ 1冊
- ③ 設置ガイド(本書) □ 1枚
- ④ 検査成績書 □ 1冊
- ⑤ (仮)保証書 □ 1枚
- ⑥ ご利用にあたっての注意事項 □ 1冊
- ⑦ 正面扉の鍵 □ 2個
- ⑧ ボルト(M10×40)、ナット(M10)、平座金(2個)、パネ座金 □ 4式

2. 外形寸法・質量



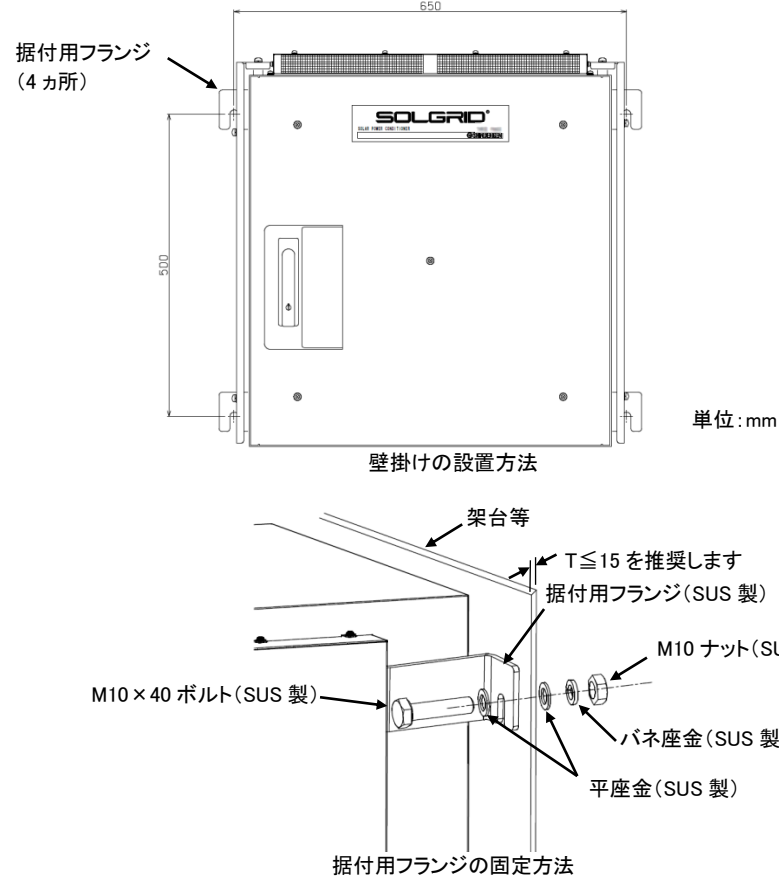
	9.9kW/10kW	12.3kW
A	650mm	675mm
B	35mm	60mm

質量
9.9kW/10kW : 72kg 以下
12.3kW : 73kg 以下

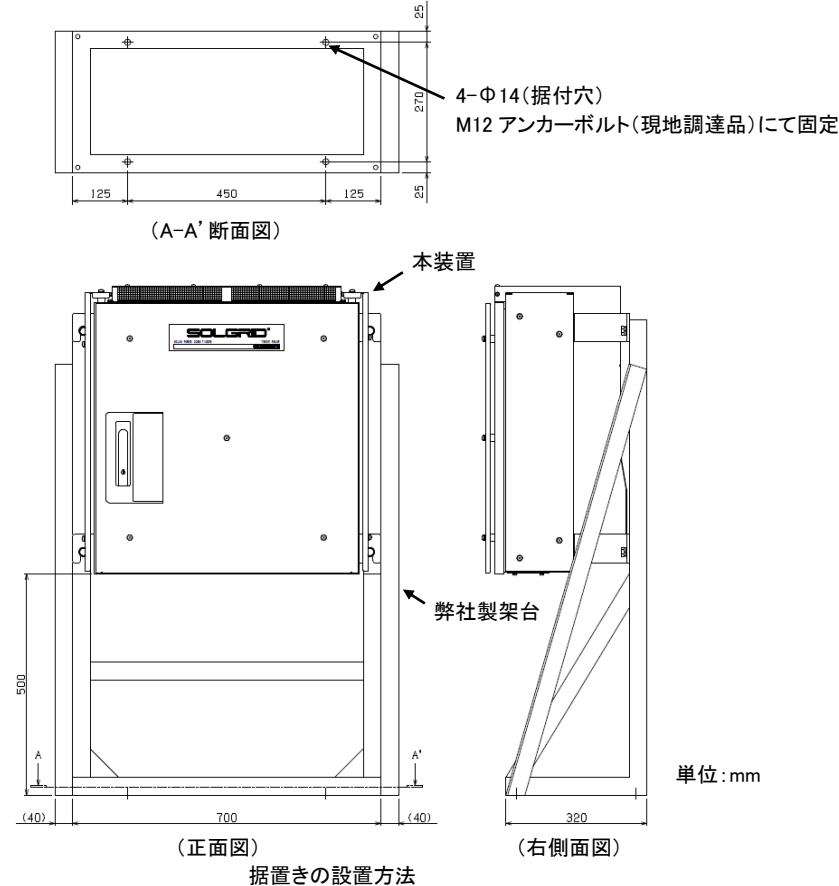
「遮光板付」(オプション型名:-SK)の外形寸法図

3. 設置方法

壁掛けにて使用する場合は、据付用フランジを架台等に取り付けてください。

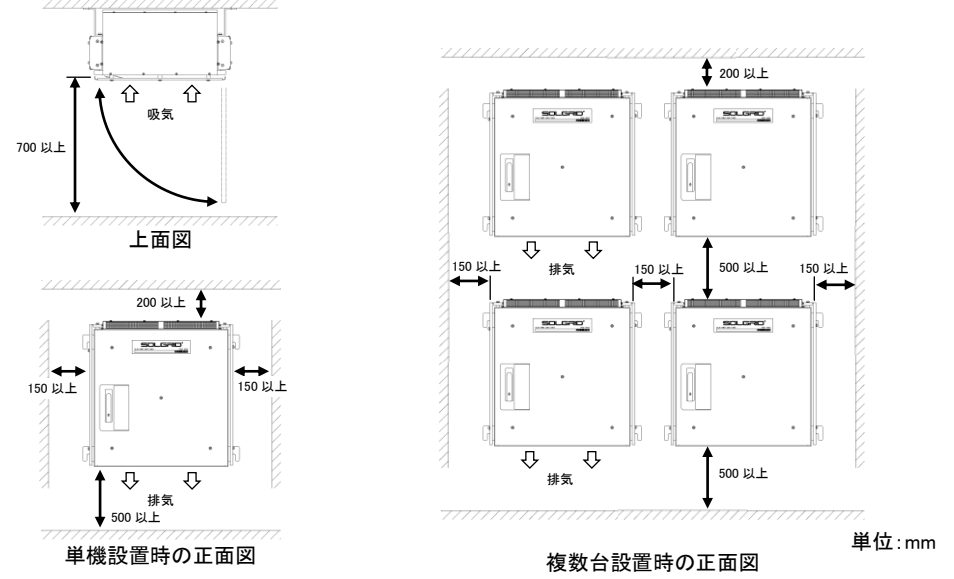


据置きにて使用する場合は、弊社製架台（別途購入品）の下部をアンカーボルト等で固定し、PCSの据付用フランジを架台に取り付けてください。
アンカーボルト等架台の設置に使用する部品は施工業者様側で準備してください。
転倒の恐れがありますので、架台を固定する前にPCSを取り付けないでください。



4. 周囲との間隔

PCSは、下図のように間隔を取って設置してください。



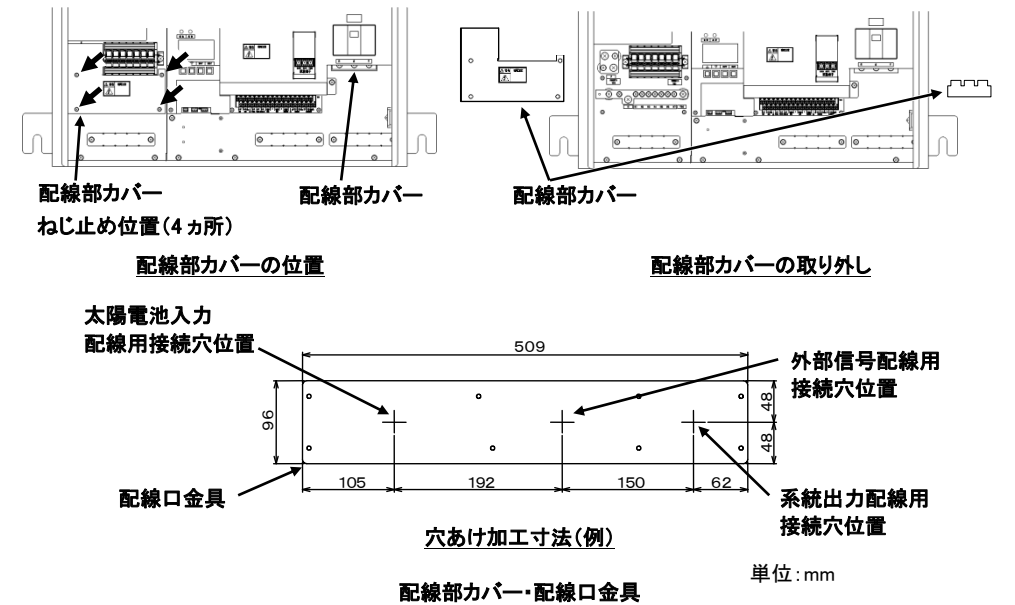
※正面扉の開閉、吸排気および保守スペース確保のため、上記寸法の間隔を設けてください。なお、上部側に熱源がある場合は、上部に500mm以上の間隔を設けてください。間隔が狭いと冷却効果が低下します。
※前面上側の吸気ダクトより外気を取り込み、下側の排気ダクトから排気する構造となっています。

注意

- (1) PCSの下部側には積雪や草木の影響を受けないように間隔を確保してください。
- (2) 下部間隔250mmでの設置も可能ですが、排気ファン交換時にPCS本体の取り外しが必要となる場合があります。

5. 配線口金具の加工

配線部カバーの位置および、穴あけ加工寸法(例)は下図をご参照ください。
全ての配線工事が終了した際には、配線部カバーを元通りに取り付けてください。



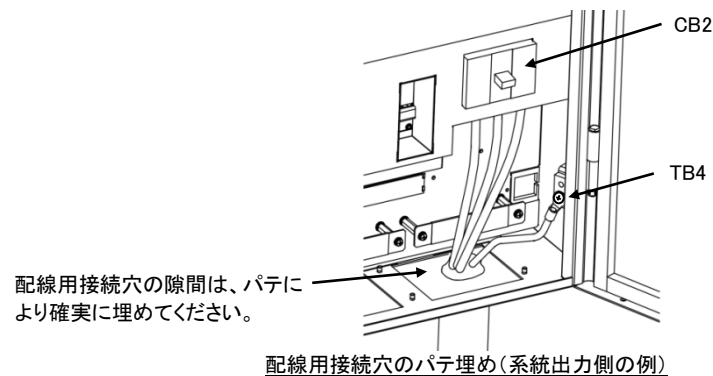
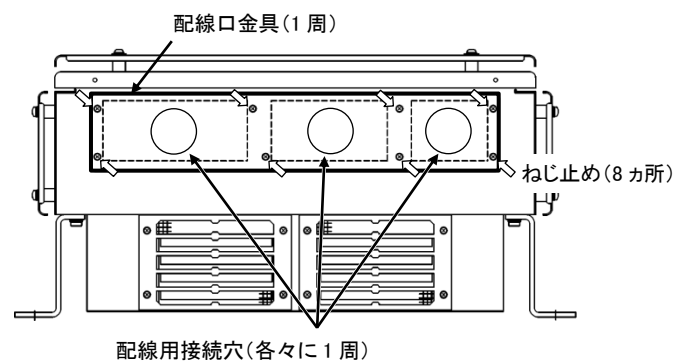
注意

- (1) 配線には電気工事士の資格が必要です。経験を有しておらず専門知識のない人は、配線作業を行わないでください。
- (2) 電線管を使用する等、工事後の配線に応力がかからないように配慮してください。

6. 防水処理

防水処理は下図を参照してください。

配線口金具の周囲、配線用接続穴の周囲、ねじ止め(8カ所)に防水処理を行ってください。

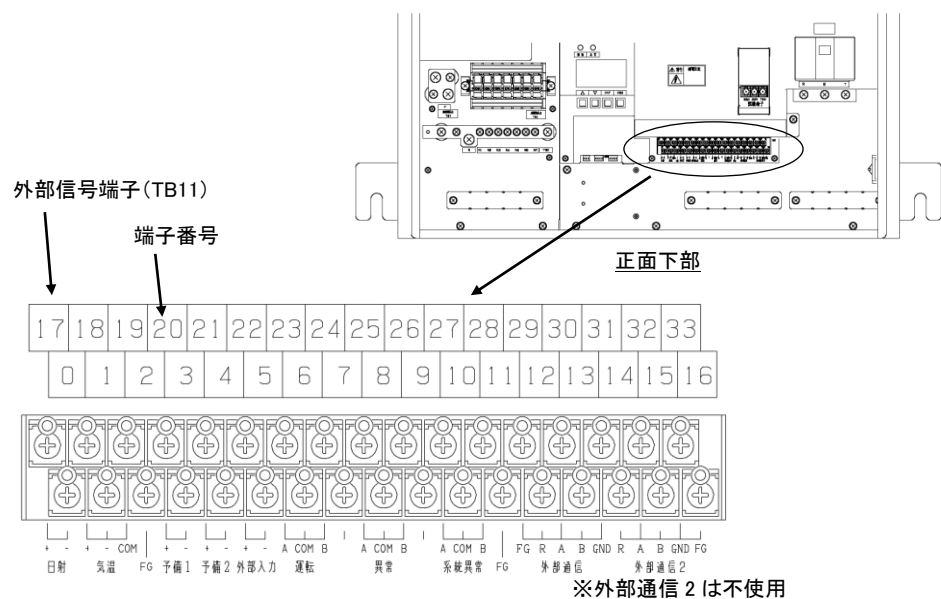


注意 配線口金具および配線用接続穴の穴あけ加工後は防水処理（シーリング、パテ埋め等）を行い、確実に隙間を埋めてください。

7. 外部信号端子に関して

PCS の計測・監視・制御等に用いる外部信号端子を下図に示します。

機能、ピンサインおよび電線種等の詳細は『取扱説明書』9.5 項 外部信号端子 (TB11) の接続を参照してください。



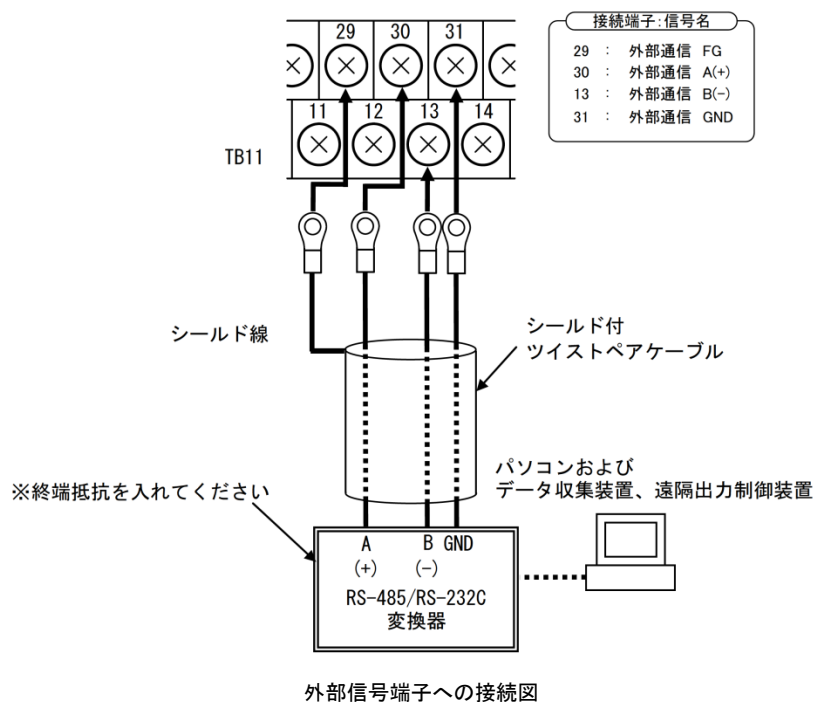
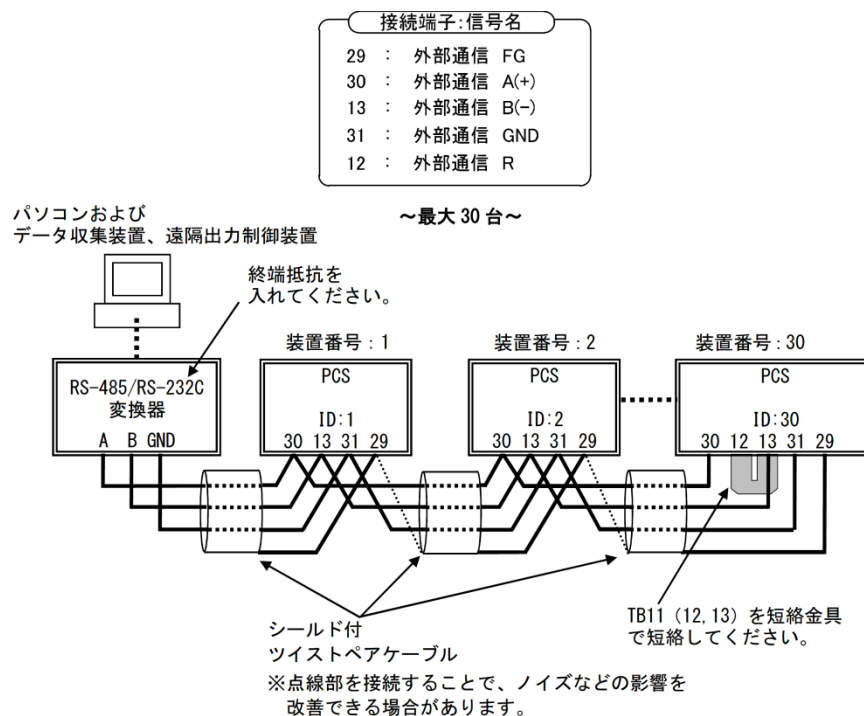
注意

- 圧着端子は、絶縁スリーブ付を推奨します。
- 使用する電線種は、シールド付ツイストペアケーブル (KPEV-SB 0.5mm²) を推奨します。
型名: KPEV-SB メーカー: 古河電気工業株式会社
KPEVは古河電気工業株式会社の登録商標です。
- 各ケーブルは、施工業者様側で準備してください。

8. パソコンおよびデータ収集装置、遠隔出力制御装置の配線

PCS をパソコンおよびデータ収集装置、遠隔出力制御装置に接続してデータ収集や出力制御を行う場合は、外部信号端子に下記接続図を参考にして配線してください。

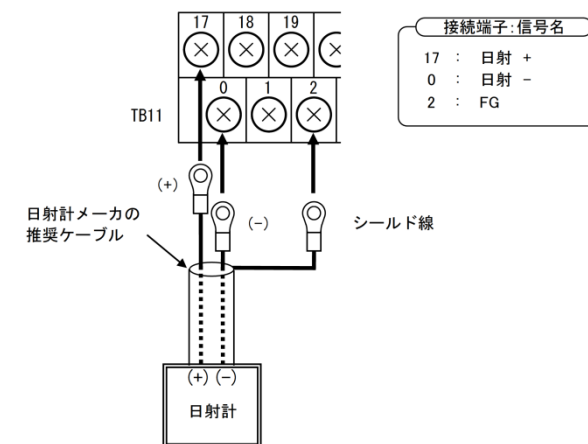
- PCS とパソコンおよびデータ収集装置、遠隔出力制御装置を接続する際は、データ収集装置、遠隔出力制御装置側に終端抵抗を入れてください。
- 末端の PCS は TB11 (12,13) 間を短絡金具で短絡してください。
※短絡することで終端抵抗が挿入され通信が安定に動作します。
※PCS を単機で使用する場合でも、TB11 (12,13) 間は短絡金具で短絡した状態としてください。(出荷時は、短絡金具を取り付けてあります。)



注意

- 圧着端子は、絶縁スリーブ付を推奨します。
- 使用する電線種は、シールド付ツイストペアケーブル (KPEV-SB 0.5mm²) を推奨します。
型名: KPEV-SB メーカー: 古河電気工業株式会社
KPEVは古河電気工業株式会社の登録商標です。
- 各ケーブルは、施工業者様側で準備してください。

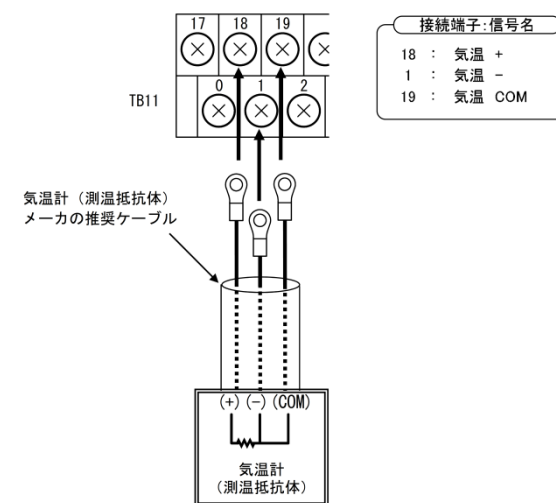
9. 日射計の配線



注意

- 日射計と PCS 間の配線距離は、出来る限り短く配線してください。
- 日射計の選定に関しては『取扱説明書』を参照してください。

10. 気温計の配線



注意

- 気温計と PCS 間の配線距離は、出来る限り短く配線してください。
- 気温計の選定に関しては『取扱説明書』を参照してください。

11. その他

- 配線に関する詳細は『取扱説明書』9 項 配線の接続を参照してください。
- 絶縁抵抗試験については『取扱説明書』8.3 項 絶縁抵抗試験の方法を参照してください。
- 不明点は『取扱説明書』を参照して作業を行ってください。

注意 配線接続後や操作パネル、遮断器、断路器の操作後は正面扉を確実に閉めてください。